

創立100周年記念式典・懇親会挙行

100th anniversary

学校法人文京学院は創立100周年を迎え、2024年10月23日に記念式典・懇親会が挙行されました。多数の来賓や教職員、生徒、卒業生らが集まって100周年という節目を共に祝い、学院がその先の未来を紡いでゆく覚悟が示された日となりました。

式典

式次第

第1部 “Change”

開会の辞
挨拶 島田 昌和学院長・理事長
来賓紹介
来賓祝辞
祝電披露
将来構想発表

第2部 “Challenge”

100周年記念コラボレーションステージ
映画制作発表
閉会の辞

10月23日、「学校法人文京学院創立100周年記念式典」が文京区の文京シビックホールにて執り行われました。式典には、来賓や教職員、文京学院大学女子中学校高等学校の生徒など、約1,800名の関係者が出席しました。島田昌和学院長・理事長は100年の感謝を述べるとともに、創立者の「更なる覚悟で」という言葉に基づき、未来への決意を語りました。また、学院が今後進むべき姿として、大学、中学・高校、文京幼稚園、ふじみ野幼稚園の各設置校が将来構想を発表しました。さらにパシフィックフィルハーモニア東京と中学・高校の生徒がコラボレーションし、輝きを放つステージや、映画の制作発表も行われ、豪華な演出に会場は大いに盛り上がりしました。

(式典の詳細は2面に掲載)



島田昌和学院長・理事長ご挨拶

大勢のご来賓、長らく教育に携わってくださった教職員OB・OGの皆様、直接に戦前からの学校のルーツを引き継ぐ中学・高校の全生徒、現在教育に携わる多くの教職員と共に、この100周年の日を迎えられましたことに深く感謝申し上げます。

この100周年は私にとりましても長年に渡って是が非でもたどり着きたかった大目標でありました。「自立の力と思いやる心」を身につけた人を育成するために、苦勞に苦勞を重ねて歩まれた創立者に少しでも報いることは、学校を衰退させることなく、時代の趨勢にあわせて発展させることだと思って携わってきました。それがどこまで実現できたかを私ははかることができませんが、この学び舎を巣立った多くの卒業生の社会で頑張る姿はその証であります。

我々にとりまして100周年は、たどり着いてゴールテープを切る日ではありません。100年刻んだ自信を元に、大事な通過点をかみしめ、次なる戦いに挑み始める日であります。それを各設置校のビジョンとして発表して参ります。皆様へのお約束であり、決意の表明であります。創立者の島田依史子先生が常にその時代の最先端を追いかけられて、それを教育に表していかれたことを続けていかねばなりません。

100周年の一環として、私どもの学校の所蔵文書を紐解き、資料を一枚一枚撮影する作業をしております。ちょうど一週間ほど前に、ある戦前の資料の綴じ込みの結わえ紐を解きました。固く結ばれた丈夫なひもは、薄紙を短冊状に裂いた「こより紐」でした。何気なくそれをほぐすとそこには1行の文章が書かれていました。見覚えのある島田依史子先生の毛筆文字で「更なる覚悟で」と書かれていました。100周年を目前にして、九十年ほどの時空を飛び越えて、創立者からメッセージが届いた気持ちです。そうです、我々に「更なる覚悟を持って次に進みなさい」という叱咤激励の言葉が創立者から届けられました。きっと自らを奮い立たせるために書いた「更なる覚悟」の文字、それは時を超えて永遠に挑む我々の「覚悟」でなければなりません。

我々の覚悟づくりは必ずや日本の将来の覚悟になるはずで。その道に我々は挑み続けることを皆さんにお誓い申し上げ、私の式辞と致します。(式辞より抜粋)



懇親会

式次第

開会

挨拶 島田 燐子名誉学院長
祝辞 来賓代表
文京学院校友会会長
中学校・高等学校卒業生
大学卒業生

乾杯

歓談&突撃インタビュー
映画制作発表
歓談&突撃インタビュー
閉会の辞

同日夕方からは、「学校法人文京学院創立100周年記念懇親会」が、千代田区の帝国ホテル「孔雀の間」にて挙行されました。約1,000名の卒業生や教職員、関係者が集い、美味しい料理とともに、懐かしい再会や交流を楽しみました。島田燐子名誉学院長は、多くの参加者に対して感謝を述べ、多数の来賓からも祝辞が贈られました。会場内では参加者への突撃インタビューや、映画制作の発表として出演キャストらによるトークショーも行われ、華やかなひとときが繰り広げられました。

(懇親会の詳細は3面に掲載)



島田燐子名誉学院長ご挨拶

創立者の島田依史子先生がささやかな私塾を開いてから、4代目の今日まで、皆様さまさまのお力添えをいただきました。

女性の社会的地位が低く、何かと「女だてらに」とか「女はでしゃばるな」といわれた時代に、大きな後ろ盾もない中で仕事をされた依史子先生のご苦労はいかばかりであろうと想像いたします。皆様はその実力を認めて応援してくださったのだと思います。その依史子先生の想いを受けとめて、幼稚園から大学にいたるまでの教職員ばかりか、卒業生お一人おひとりまでが、社会で頑張ってください学院を支えてくださいました。

現在、大学は教職員、学生とも男女比は半々となりましたが、今回の催しも女性の総務部長がとりまとめた一人として大活躍しました。また、本学院では34%の女性が管理職として活躍しています。

本当に皆様に感謝申し上げます。叶わないことですが、この会場に島田依史子先生、第2代理事長・島田和幸先生がいらしたらどんなに喜ばれたかと思ひます。

これからもまた一同全力をあげて頑張りますので、どうか応援をしてくださいますようお願いいたしまして、ご挨拶いたします。



学校法人文京学院 「創立100周年記念式典」

記念式典が挙行された文京シビックホールの大ホールは、約1,800名の参加者でいっぱいになりました。式典の司会は、文京学院大学人間学部の卒業生でフリーアナウンサーである三井さと氏が務め、厳かでありながらも、和やかで明るい雰囲気包まれた式典となりました。

第1部

100周年記念事業のキャッチフレーズは、「あなたと共に未来を紡ぐ Change, Challenge, Continuity」。第1部は「Change」をテーマに、学院が100周年を迎え、更なる「変化」を確信する式となりました。

開式前には、文京学院の100年の歩みを振り返る動画を上映。開式の辞と島田昌和学院長・理事長の挨拶(詳細は1面)の後、来賓祝辞では、日本私立大学協会会長 小原芳明様、文京学院大学との協定校で長年提携を続けているセント・ベネディクト/セント・ジョンス大学(CSB/SJU)学長 プライアン・J・プリース様、文京区区長 成澤廣修様より温かご祝辞をいただきました。また、ふじみ野市長 高畑博様、教育提携をするアオバジャパン・インターナショナルスクール学園長 ジェイク・マデン様も壇上の来賓者席に並びました。

続いて、各設置校から将来構想が発表されました。最初に福井勉文京学院大学学長が「B's Vision2029」の大学のミッションとして、建学の精神「自立と共生」を基盤とし、人やものと協働しながら社会で自立できる人材の育成と、志ある人に学びの機会と可能性を提供していくと述べました。清水直樹文京学院大学女子中学校高等学校校長は「B's PRIDE120～100年の誇りとシンカする20年～」と題して、今の生徒たちが社会の中心となっていく20年後の未来を予測した、4つのシンカ(深化・新化・伸化・進化)への取り組みを発表しました。益田薫子文京幼稚園園長からは「文京幼稚園のこれから～ブランディング～」としてブランディングの4つの柱を説明し、柄田毅ふじみ野幼稚園園長は「ふじみ野幼稚園のこれから～中長期計画～」として、グローバルかつインクルーシブな幼児保育をふじみ野の地域とともに成し遂げていきたいと話しました。

第2部

第2部は「Challenge」として、学院の新たな「挑戦」を表現したプログラムとなりました。

オープニングは、中高吹奏楽部による、ジェームズ・スウェアリンジェンの名曲『センチュリア』の演奏で開幕となりました。「センチュリア(100年)」には、次の100年への力強い決意が込められています。このステージは、パンフィックフルハーモニア東京とのコラボレーションにより、ファゴット奏者の松里俊明様、トロンボーン奏者の渡辺善行様、打楽器奏者の神戸光徳様との共演が実現しました。代表して渡辺様は、「部員の笑顔や先生の熱意が伝わってきて、一緒に演奏することが楽しかった」と感想を述べました。

次に、中高生徒会総務役員2名が、第2代理事長 島田和幸先生の著書『思い出すことなど』から、「信用は無形の財産-デパートでも買えないもの」の朗読を行い、人間は信用が第一であり、常日頃から信用づくりを心がけるべきであるという考えが力強く伝えられました。

続いて、吹奏楽部による『ライオンキング』メドレーが演奏される中、新体操部やカラーガード部の生徒たちが音楽に合わせて、ステージ上で生き生きと壮大な大地を駆ける動物たちを表現し、旗やフープ、リボンを使った華麗な演技を披露。会場は迫力ある演技に魅了され、惜しめない拍手が贈られました。

また、創立者島田依史子先生の著書『信用はデパートで売っていない』を原案にした2025年秋公開予定の映画に関して、キャストを迎えての映画制作発表も行われました。会場ではあちこちから歓声が湧き上がり、大いに盛り上がりました。そして、熱気あふれるまま、盛会のうちに記念式典は幕を閉じました。

司会者プロフィール 三井さと氏

フリーアナウンサー/文京学院大学人間学部人間学科保育心理専攻出身。1998年・2001年に読売ジャイアンツのマスコットガールを務め、以後司会やリポーター、パーソナリティ、ドラマ・舞台への出演など多岐にわたる活動を行う。さらにはワンマンライブを開催するなど、歌手としても活躍する。



将来構想

文京学院大学

【B's Vision2029】

予測不可能な時代変化の中で、社会の新しい課題を発見し主体的に解決しようとする人材を育成するために、大学として以下2つのミッションと4つの方針を掲げ教育力日本一を目指します。

「2029年までの大学のミッション」
一建学の精神「自立と共生」を基盤として
○人やものと協働しながら社会で自立できる人材を育成します
○志(こころざし)ある人に学びの機会と可能性を提供します

1. 地球市民を育成します
2. ストレス耐性の高い人材を育成します
3. 学ぶ喜びのある教育環境を提供します
4. 生涯にわたる学修をサポートします



学長 福井 勉

文京学院大学女子中学校高等学校

【B's PRIDE120 ～100年の誇りとシンカする20年～】

「自立-FUJI PRIDE」～21世紀近未来社会をたくましく生き抜くことのできる力～
○「自立した学習者」～「探究」×「DX」×「英語力」×「ライフスキル」
「共生-SAKURA PRIDE」～多様な価値観の中で共に育ち共に生きていくことのできる力～
○「多様性を楽しむ心」～多様性を楽しみ世界より良い平和を願う心 ○「仁愛の心」～100年続く思いやりの心
「BUNKYO GAKUIN～四つのシンカ～」
シンカ1「深化」…探究活動「考える力」「発信力」、グローバル教育「多様性」「英語力」
シンカ2「新化」…DX教育「ICTスキルとリテラシー」「AI活用力」、異空間体験「ライフスキル」
シンカ3「伸化」…文京学院100年の継承「仁愛の心」
シンカ4「進化」…無限大の女子の力「女子校Plus」



校長 清水直樹

文京学院大学文京幼稚園

文京学院100周年を機に、文京幼稚園70年の実績の上に、新しい時代に合わせたPost-centennial(100周年後)の更なる充実を目指します。

【文京幼稚園のこれから～ブランディング～】

1. 子ども一人ひとりをしっかりと育てる
2. “学びを止めない”「通常保育」と「預かり保育」のシームレスな連携
3. いながらグローバル-英語と中国語のイメージ
4. 文京学院大学との連携-大学併設園として更なる成長を



園長 益田薫子

文京学院大学ふじみ野幼稚園

グローバルかつインクルーシブな幼児教育、子どもが集う場所としての取り組みから、これからの“ふじみ野”の幼稚園として、成長していきます。

【ふじみ野幼稚園のこれから～中長期計画～】

- ふじみ野の地域で子どもを中心に、遊びを通じた主体的な学び合いを行う幼児教育の継承と実践
- 多様な子どもが育ち合う国際理解教育及びインクルーシブ教育の推進
- 子どもと保護者が地域での交流と体験を育む未就園幼児及び預かり保育の充実
- 大学と連携し、多彩で質の高い保育を行うふじみ野キャンパスにある幼稚園としてのブランド構築



園長 柄田毅

学校法人文京学院

「創立100周年記念懇親会」

記念式典後は帝国ホテルに会場を移し、懇親会が開かれました。司会を努めていただいたのは元日本テレビアナウンサーで、本学大学院福祉医療マネジメント研究科アドバイザリーボードの町亞聖氏。会場は終始笑顔が飛び交い、賑やかであたたかな雰囲気に包まれていました。

帝国ホテル「孔雀の間」で開催された懇親会には、各設置校の卒業生や元教職員、お世話になった関係者を迎え、現役教員・職員とともに楽しいひとときを過ごしていただけるように、文京学院100年の歩みを振り返るプログラムが用意されました。その一環として、会場内には学院の歴史や幼稚園・中高・大学の取り組みを紹介する展示コーナーが設けられました。参加者たちは開会前や懇談の合間に立ち寄り、じっくりと見学を楽しんでいました。また参加者からのメッセージコーナーも設置され、100周年への祝福とともに、「誠実・勤勉・仁愛 今でも指針としている言葉です」「私自身と娘2人がお世話になりました」「文京学院は私の青春」など、学院への愛情あふれるコメントが寄せられました。

開場前から旧友や教職員と再会を喜び声で賑わい、記念撮影をする姿も見られる中、メイン会場である「孔雀の間」が開場し、懇親会は島田博子名誉学院長の挨拶から始まりました。長年、学院に携わり、多くの生徒たちと関わってきた名誉学院長の話をお聞きし、ステージ周辺には多くの参加者が集まりました。島田名誉学院長は、たくさんの人が参加してくれたことに感謝を述べ、100年を振り返り、創立者の島田依史子先生が「女性に自立の力を」という教育信念を貫いたこと、そして現在、女性の活躍が増えていることへの喜びを語りました。(全文は1面に掲載)

来賓の祝辞では、在日ロシア共和国特命全権大使のオーレリウス・ジーカス閣下や、文京学院校友会の会長である櫻井真由美様、大学卒業生で文京学院大学大使を務める鈴木大介様からご祝辞をいただきました。また、中学・高校の卒業生で元宝塚歌劇団の光月るう様からのご祝辞では、伝統教育である「運針」や「ペン習字」が宝塚歌劇団で役立ったこと、そして文京学院で培った自立やチャレンジ精神が、組長という大役を全うできた理由だと語られました。

乾杯の発声は島田昌和学院長・理事長が務め、「100周年、万歳!」の万歳三唱でパーティーが始まりました。帝国ホテルのシェフが腕を振った美味しい料理がビュッフェ形式で提供され、参加者は思い思いに料理を手にとり堪能していました。

懇談の時間には、突撃インタビューとして、リポーターが参加者に声をかけて話を聞く場面もありました。中学・高校の卒業生であり、パリオリンピックビーチバレーボールの代表選手となった長谷川暁子様は、バレーボール部で良い仲間と過ごした青春の日々や、オリンピックでエッフェル塔の前で競技をした感動的な経験、またパリへ行く前に本校で開催された壮行会での吹奏楽部の演奏や現役生からのエールが力になったことを語られました。そのほか、今回の100周年記念ロゴを制作した大学卒業生の工藤純平様や、大学と連携協定を結ぶ藤沢市在住の藍左師・守谷玲太様、社会で活躍する文京大使などにもインタビューをし、学生時代の思い出や本学の印象、現在の活動について語っていただきました。

会の後半には、映画キャストを迎え、2025年秋公開予定の映画制作発表も行われました。「活気がすごい」とキャストが驚くほど、会場は大いに沸き立ちました。(映画の詳細は続報をお待ち下さい)

盛り上がりの中、閉会が近づき、福井勉学長が挨拶に立ちました。学長は、文京学院は次の100年を目指して進んでいくことを誓い、約1,000名の参加者の健康と幸せを祈って一本締めで会を締めくくりました。参加者たちは懐かしい会話を楽しんだ同窓生や、新しく出会い交流を深めた人々と別れを惜しみつつ、帰路につきました。

司会者プロフィール 町 亞聖氏

元日本テレビアナウンサー/1995年日本テレビ入社、2011年フリーに転身。高校生の時に、母が脳障害のため車椅子の生活になり、10年にわたり介護を行う。元マングアラーとしての経験から、講演やラジオ番組等での発信を精力的に行っている。文京学院大学大学院福祉医療マネジメント研究科のアドバイザリーボードを担当し、過去に同分野のシンポジウムでもコーディネーターを務める。著書『十年介護』(小学館文庫)、新刊『受援力』(法研)。



PHOTO GALLERY 式典・懇親会 フォトギャラリー



日本私立大学協会 小原芳明会長 CSB/SJU プライアン・J・プリース学長 文京区 成澤廣修区長

在日ロシア共和国特命全権大使 オーレリウス・ジーカス閣下 文京学院校友会 櫻井真由美会長

鈴木大介様(大学卒業生) 光月るう様(中高卒業生)

学院創立100年を振り返る展示物～懇親会会場にて～

懇親会会場である帝国ホテル「孔雀の間」の前室には、学院のあゆみをはじめ、各設置校独自の取り組みやメッセージ、100周年に向けて制作された作品等が展示され、卒業生や来場された方々が足をとめて懐かしむ様子が多くみられました。ここでは、当日の会場を華やかに彩った展示物の数々をご紹介します。

文京学院100年の歩み

100年を振り返る映像とともに、1924年に「島田裁縫伝習所」として始まった文京学院の沿革と、創立者・島田依史子先生や第2代理事長・島田和幸先生の生涯や珠玉の言葉が紹介されました。卒業生からのメッセージコーナーには、温かいコメントが多く寄せられました。



卒業アルバム展示

卒業アルバムを展示するコーナーでは、中学・高校や短大、大学各学部のアルバムが年代ごとに並べられました。手に取ったアルバムをめくりながら、自分や友人の写真を探す人、当手を懐かしみ、思い出話に花を咲かせる人たちの姿が見られました。



五街道ウォーク

文京学院大学の二大プロジェクトのひとつである「五街道ウォーク」を紹介。1994年のスタートからこれまでの五街道ウォークを、マップや年表、写真、映像でまとめ、各回の団結を深めたTシャツも展示されました。



「新・文明の旅」プログラム

文京学院大学のもうひとつの名物プロジェクトである「新・文明の旅」プログラムを紹介。100周年に向けて約15年にわたって取り組まれてきた長期プログラムの成果が展示されました。各回の報告書やファクトブック（パンフレット資料）も並べられ、旅を振り返る人も見られました。



文京学院大学文京幼稚園・文京学院大学ふじみ野幼稚園

かわいい園児たちからのお祝いメッセージやアート作品が展示されました。文京幼稚園からは、園児たちの手形を虹の形に並べた絵が、ふじみ野幼稚園からは、カラフルなはじき絵が披露されました。園児たちが作品を作る様子も映像で放映され、来場者は微笑ましい様子で作品を見学し、じっくりと見入っていました。また、各組の様子が掲示されました。



文京学院大学女子中学校高等学校

日本最高レベルの高校生研究者を育成した探究活動やグローバル教育の成果、アオバジャパン・インターナショナルスクールとの教育提携について展示が行われました。また、パリオリンピック出場選手（ビーチバレー）を輩出したバレーボール部の活躍のほか、文京学院の伝統教育であるペン習字と運針の紹介、文京大使として元宝塚歌劇団の光月るう様、振付師の石川ゆみ様、OSK日本歌劇団の唯城ありす様の活躍も紹介されました。さらに、2011年度にリニューアルされた現在の制服もディスプレイされました。

